

# 週 報

1993年5月23日 復活節第7主日

卷 14 8号

1993年度教会主題

「キリストが私たちの内に形づくられる」

聖 句 二人は言った。「主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたも家族も救われます。」そして、看守とその家の人たち全部に主の言葉を語った。

使徒言行録 16章31節～32節

- 目 標
1. 生活を整えて礼拝、諸集會を守る。
  2. 教会の組織を再検討し、キリストの体を作る。
  3. 家族こぞって主イエスを賛美する。

日本キリスト教団

## 横浜港南台教会

〒233 横浜市港南区港南台 7丁目-8-29

電話 045-833-5323、045-833-6616

振替 横浜 9-13994

牧 師 秋 吉 隆 雄

先日、奥様が「一本の道」と題された遺稿集を出版され、私にも送ってくださり感銘深く読んだ。先生は新約聖書の最大のテーマは異邦人伝道であると語り、それを力説しておられる。先生の語る異邦人伝道とは、具体的に他民族への伝道ではなく「異質な人々と共存」を意味している。先生が教会の玄関に書き出された4行詩にも、それがよく表われている。「同じ考え、同じ生活はむしろ人間の貧しさです。人間が相互を尊重しつつ共存する事が人間の富です」。「自己絶対化する事は自分を孤立させ枯死させます。相対化存在である認識に進歩と平和の光があります」。「神を信じるという事は人間を人間以上にせず、人間を人間以下ともせず、人間を人間にする事です」。「お互い孤独な人間ですが、固有な存在を見つめる事は、他人との交わりを感謝し、天に向かって窓を開く機会です」。

天に向かって窓を開く神への賛美は、自分を絶対化せず、互いをただの人として受容し合うところに生じる。それが福音であった。

### 一牧師室から一

ペトロはローマの百人隊長コルネリウス宅に留まり、彼に福音を伝えクリスチャンに導いた。この伝道に対し、ユダヤ人クリスチャンは「割礼を受けていない者たちのところへ行き、一緒に食事をした」と非難した。信仰に燃えていた初代教会も異邦人を「犬」と言って軽蔑した民族の壁を越えられなかった。ペトロは事の次第を説明し「わたしのような者が、神がそうなざるのをどうして妨げることができたでしょうか」と語った。すると「『それでは、神は異邦人をも悔い改めさせ、命を与えてくださったのだ』と言って、神を賛美した」。ここに初代教会の福音の再発見があった。

私たちの伝道所の発足に尽力し、発足後もご指導をいただいた内藤協牧師が急逝されて5年が経つ。